

2021年度活動概要

日英インタラクシオン研究会

日英インタラクシオン研究会は、「会話能力を支えるインタラクシオン能力の解明や、教育への応用方法」をテーマに活動した。

研究会はオンラインでの研究発表会として実施した他、JACET 大会でも発表した。いずれも深く活発な議論ができた。

1) 2021年6月6日(日) 研究発表会

発表1. 「英語インタラクシオン能力育成のための指導の試み—段階的かつ明示的な指導の効果と課題」 (岩田祐子・国際基督教大学)

発表2. 「異文化理解とステレオタイプ：日本人のコミュニケーション文化を考える」(瀧野みゆき・横浜市立大学・客員研究員)

2) 2021年8月10日(火) 研究発表会

発表1. 「インドとベトナムの日系企業における日本人駐在員と現地社員との言語使用及びインタラクシオンの実態調査」(岩田祐子・国際基督教大学/ 重光由加・東京工芸大学)

発表2. 「重複発話と非言語行動の共起：共通基盤の構築と言語教育への応用を視野に」(竹田らら・昭和女子大学)

発表3. 'Effects of type of speech acts on pragmatic development in a study abroad context' (大須賀直子・明治大学)

3) JACET 第60回大会の JACET HOUR での発表

「インドとベトナムの日系企業における日本人駐在員と現地社員との言語使用及びインタラクシオンの実態調査」の発表をした。(重光由加(東京工芸大学)・岩田祐子(国際基督教大学)・大谷麻美(京都女子大学)・大塚容子(岐阜聖徳学園大学))

2021年度に取り組んだ研究は以下の通り(いずれも科学研究費基盤研究(C))。

- 1) 南アジア・東南アジアにおける ELF 談話スタイルの実態調査・英語発信力養成に向けて(平成29年度～令和3年度) 研究代表者 重光由加(東京工芸大学) 課題番号 17K02903 研究会メンバーの大塚容子、大谷麻美が研究分担者として参加。
- 2) 相互行為的社会言語学の知見に基づく英語インタラクシオン指導の実践的研究(令和2年度～令和4年度) 研究代表者 大谷麻美(京都女子大学) 課題番号 20K00849 研究会メンバーの大塚容子、重光由加が研究分担者として参加。